

森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	平成28年6月森町教育委員会定例会		
開催日時	平成28年6月23日(木) 13時30分		
会場	森町文化会館 第3研修室		
出席委員	委員長	井口 始	
	委員長職務代理者	岡本孝祥	
	委員	村松加代子	
	委員	鈴木真子	
	教育長	比奈地敏彦	
出席者	学校教育課 課長	西谷ひろみ	社会教育課 課長
	課長補佐	古川敏勝	課長補佐
	学校教育係長	小澤貴代美	課長補佐
	庶務係長	岩井秀司	社会教育係長
			社会体育スタッフ長
			鈴木富士男
			北島恵介
			杉山秀彦
			藤原 崇
			中村 貢
傍聴者	なし		

1 開会

委員長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

2 前回会議録の承認

委員長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委員長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

3 教育長の報告

委員長	6月に開催及び出席した各種会議等について、教育長からの報告を求める。	
教育長	1日・課長会議 ・学校・教育施設訪問	(6月議会対応 来庁者への挨拶) (天方小 旭中 三倉小 歴史民俗資料館) ※昼食挟んで終日実施
	2日・評価者面接② (森小・飯田小・天方小)	(教職員評価に基づく面接)
	・男女共同参画計画策定委員会	(計画案概要について意見交換)
	3日・園長・校長会	(夏に備えた危機管理等)
	・森町幼小中一貫教育研究会 第1回推進委員会	(本年度の事業方針及び計画、各校区の研究内容・計画について)
	・社会教育委員会 (情報交換会含む)	(森の教育概要説明 年間計画、高林基金についての説明等)
	6日・学校・教育施設訪問 ・①学校給食連絡協議会	(飯田幼 天方幼 森幼) (27年度報告 28年度給食運営)

	7日	・磐周研修主任研修会	(来賓として出席)
	8日	・管理主事訪問(泉陽中)	(本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と要望)
		・治郎柿原木保存会総会	(来賓挨拶 保存事業へのお礼)
		・北海道森町児童生徒友好親善業事前打ち合わせ	(顔合わせ 事業概要説明と今後の日程確認)
	9日	・管理主事訪問(飯田小)	(本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と要望)
		・静大附属小中学校副校長来庁	(研究会案内紹介 意見交換)
	10日	・6月議会(招集日)	(固定資産評価審査委員会委員選任 一般会計補正予算等)
		・全員協議会	(第9次森町総合計画 他)
	13日	・第2回総合計画策定委員会	(施策動向調査シート作成等)
		・一般質問打合せ会	(世代間交流の場の開催について等)
		・平和教育推進事業事前学習会	(引率職員との事前打ち合わせ)
	14日	・管理主事訪問(宮園小)	(本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と要望)
	15日	・会長会議	(熊本への職員派遣 挨拶運動等)
		・評価者面接③(宮園小・旭中)	(教職員評価に基づく面接)
	16日	・6月議会(2日目)	(一般会計補正予算についての質疑 選挙管理委員会委員選挙等)
		・森町学力向上対策委員会	(全国学力・学習状況調査分析と対応)
	17日	・県社会福祉協議会等来庁	(生活困窮世帯学習支援事業への協力)
	19日	・町民ソフトボール大会	(開会式挨拶、4チーム参加)
	20日	・交通安全推進会議	(開会の言葉)
		・町一貫研事務局との打合せ	(アンケートのまとめ方について)
	21日	・管理主事訪問(森中)	(本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と要望)
		・生涯学習担当者研修会	(子供向け講座 社会福祉事業の活用)
	22日	・管理主事訪問(森小)	(本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と要望)
		・学校給食運営委員会	(事業報告と本年度の事業計画等)
	23日	・教育委員会	(6月定例教育委員会)
		・学校・教育施設訪問	(文化会館 図書館)
		・北海道訪問事業事前学習会	(全体顔合わせ 訪問の意義等)
	24日	・6月議会最終日 (議員との懇親会)	(補正予算採決 一般質問(子供の情操教育の推進 世代間交流の場の開設))
	27日	・生徒指導連絡協議会 (遠江総合高校)	(最近の少年非行等の概要 夏季休業中の生徒指導 意見交換等)
	28日	・学校・教育施設訪問	(一宮幼 園田幼 森中 泉陽中) ※昼食は、給食試食(森中)
		・総合教育会議	(第9次総合計画と教育大綱との関連 意見交換)
	29日	・職員団体来庁	(勤務状況改善要求書提出)
	30日	・学校教育施設訪問	(宮園小 飯田小 森小) ※昼食は、給食試食(飯田小)
委員 長	教育長の報告について、質疑を求める。		
委員 長	治郎柿の漢字は「治」か「次」かどちらを使うのか。		
北島社会教育課長補佐	会議で「治」を使用すると議決した。 県と町の指定及び品種名は「次」、販売・宣伝は「治」を使用している。		
委員 全員	他に質疑なく承認。		

4 付議する案件

【議 事】

委 員 長	議事について事務局に説明を求める。 議第16号について説明を求める。
庶務係長	議第16号 平成28年度 森町教育委員会自己点検・評価について 別添の平成28年度 森町教育委員会 自己点検・評価報告書(案)(平成27年度分)は、平成27年度分の教育委員会の活動と主要な施策の取り組み状況についての点検評価の報告書になります。先日6月1日の施設訪問の後、評価書の確認をいただき、御指摘いただいた点について、修正したものになる。 内容の確認をいただき、承認いただければ、今後有識者による御意見・御助言をいただき、最終的に教育長の総合評価を載せて、8月の定例会に完成させたものを報告させていただきます。その後、9月議会に提出し、ホームページに掲載することで、町民に公表していきたい。 ご審議いただきたい。
委 員 長	前回の加除・修正点について説明いただき、協議する。
庶務係長	「はじめに」の下から6行目、「3回にわたる」の「渡る」をひらがなに訂正、次の行の「取り組むべき施策」の「施策」をひらがなから漢字に訂正した。 4頁の【幼稚園教育】の1行目2行目について、「人間形成の基礎を培う幼稚園教育」を推進するために、「幼児期にふさわしい生活の展開」、「遊びを通しての総合的な指導」及び「一人一人の特性に応じた指導」を重視する。のカッコ書きをやめて通常の文章に修正した。次の行の「極小規模園については、今後のあり方について検討を行う。」は、重点項目であるため、上に移動した。 8頁の(4)教育委員会と首長との連携の小項目「教育委員会と首長との意見交換会の実施」の後の「と総合教育会議への参加」を削除した。 9頁の【大項目3】「(3)集団生活を送る力を高める」の点検・評価欄の最終行の「地域へ丁寧な説明」の「丁寧な」を削除した。 10頁の「・小学校・中学校教育」の「(1)魅力ある授業づくりの推進」の点検・評価欄、「課題解決に取り組み」の中にあった「ん」を削除した。 「(2)規範意識の育成・人権教育の充実」の点検・評価欄1行目は、「体罰調査を実施したが、」と1文となっていたが、2文に分けた。 以上が修正点である。
委 員 長	以上について質疑を求める。
岡本委員	有識者に見ていただくのはいつか。
庶務係長	7月28日を予定している。
岡本委員	本日承認し、後日修正箇所があれば、教育委員会へ連絡するということでしょうか。
委員全員	他に質疑なく承認。

【報告事項】

委 員 長	続いて報告事項について事務局に説明を求める。
委 員 長	報第13号について説明を求める。
学校教育係長	報第13号 町職員の臨時的任用について

	幼稚園非常勤講師は、不足となっていた飯田幼稚園の預かり保育指導員に望月さんを任用するもの。
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	今まで欠員となっていたものか。
学校教育課長	山下指導主事や幼稚園の非常勤講師により対応してきたが、今回の任用ですべての曜日に任用ができた。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	報第14号について説明を求める。
学校教育係長	<p>報第14号 平成28年度北海道森町児童生徒友好親善訪問団派遣について 本年度は、こちらが北海道森町へ訪問する年。</p> <p>趣旨としては、昭和43年に北海道森町と友好町の調印が行われ、小中学生の親善交流は、昭和63年度に北海道森町への訪問以降、交互に訪問を繰り返して本年に至っている。本年で、15回目の訪問、30年継続している。</p> <p>親善訪問の目的は、礼儀正しい行動ができること、交流を深めること、それぞれの相違点を見つけながら良さを再認識することに焦点を置いている。</p> <p>実施期間は、7月29日金曜日から8月2日火曜日までの4泊5日。</p> <p>訪問団員は、各学校へ依頼して名簿のとおり児童10名、生徒6名。小学校5年と中学校2年を募集したところ、三倉小の5・6年生が女子だけで男女のバランスがうまくとれなかったが、北海道森町でも訪問した子の家庭が受け入れするということがうまくいかないケースもあり、受け入れのみ可能な家庭を募集してくれて相手側がバランスをとってくれた。引率は、森中校長が団長、旭が丘中と天方小の教諭、三倉小の養護教諭、事務局から学校教育課長補佐にて対応する。</p> <p>日程については、表記のとおり。前回までは、往復ともに飛行機だったため、出発が朝5時40分くらいで、子供たちの生活リズムが崩れるものやむを得ずやってきたが、新幹線が開通したため、これを利用することにした。空港の中の移動等もなく子供たちの負担も少ないと思われる。</p> <p>出発式を6時40分に森町病院前駅で行い、初日は、函館に入り歓迎式を行った後、交流会となる。2日目は、町内見学を全員で行う予定。3日目がホームステイ、4日目は、早くもお別れ式の後、札幌までの途中に有珠山、洞爺湖、アイヌ民俗博物館を見学しながらホテルに宿泊する。翌日はこちらへの帰路となるが、今回、札幌丘珠空港から静岡空港への便ができたため、利用することができる。宿舎から空港までが近いので、白い恋人工場等へ見学する案が出ている。15:35に静岡空港に着くので、バスで迎えに行って17:00頃文化会館にて帰着式の予定となっている。</p> <p>費用は、おおよそ個人負担が35,000円から39,000円程度で3割負担の予定。</p> <p>今後の日程は、本日、第1回の事前学習会、第2回目が7月4日、壮行会が7月27日を予定しており、委員長の出席をお願いしたい。8月3日に代表が町長室にて帰町報告、8月30日に事後学習会を行い、写真や作文等を載せた訪問記を作成、配布する予定。</p>
委員 長	以上について質疑を求める。
教育 長	先週地震があり、それを加味して、安心・安全を確保して計画しているが、状況次第で変更も考慮することもある。
委員 長	<p>感想として、親善訪問の目的については、目的という観点から順序の入れ替え等の見直しをした方が良いのでは。</p> <p>例えば、(3)は「北海道森町の自然・産業・生活等に触れ、私たち森町との相違点を学ぶ。」として上に持っていくとか、もっと上段には、「将来の有意な町民の育成」を入れるなどしたらどうか。(1)については、目的というより留意事項にあたるのではないか。</p>

	<p>次回、検討いただければと思う。 もう一点、広島は全額町の負担だが、北海道が3割を負担する意味は何か。</p>
学校教育課長	<p>希望が多数あり、作文や面接等により選考している。交流の後、札幌に行ったりするが、そこは、観光の要素もあり、自己負担をお願いしていると思う。</p>
委員長	<p>今年は、新幹線利用、丘珠空港等初めて利用し、非常に良い勉強になると思われる。</p>
岡本委員	<p>時間的な配分が、今までの中で一番良い。疲れも少ないと思われる。</p>
委員全員	<p>他に質疑なく承認。</p>
委員長	<p>報第15号について説明を求める。</p>
学校教育係長	<p>報第15号 平成28年度広島平和記念式典児童生徒派遣事業について 世界で唯一の被爆国である日本の子供として平和記念式典へ児童生徒を派遣し、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会を得ることにより、世界平和を願う児童生徒の育成に繋がりたいという趣旨で、今年で3回目の事業。 派遣先は、広島市の平和記念公園、実施期間は、式典が8月6日であるため前日の8月5日（金）から8月6日（土）までの予定。 訪問団は、各中学校区を回しており、今年は、泉陽中学校で児童2名、生徒2名となっている。 活動内容は、広島平和記念式典参列、平和記念資料館及び原爆ドーム等の見学、被爆者の講話聴講、事後活動として作文し、校内発表する等。 日程は、表のとおり。森町病院前駅を8:15に出発し、広島へは午後に着いて、平和記念資料館を見学した後、被爆体験者の講話を聴く時間を設けている。 翌日は、平和記念式典が8:00から始まるためホテルを7:00には出発する。式典参列後は、原爆ドーム等を見学し、夕方、森町病院前駅へ到着するので、森町文化会館にて教育長へ帰町報告する予定となっている。 費用については全額町が負担する。小学生が34,350円前後、中学生が47,290円前後、引率者が52,210円前後となっている。 事前学習会は、7月12日に文化会館で予定、事後活動は、各学校で作文の提出、体験発表することとなっている。</p>
委員長	<p>以上について質疑を求める。</p>
岡本委員	<p>県ではどの程度実施しているか。</p>
学校教育課長	<p>近隣では、磐田市が小中学校全校から参加している。袋井市も昨年度から実施。</p>
委員長	<p>席が確保されるのか。</p>
学校教育課長	<p>事前に郵便で席の数を広島市へ報告する。</p>
岡本委員	<p>静岡県の枠はあるか。</p>
教育長	<p>県の枠は無く、市町村単位での参加。</p>
委員全員	<p>他に質疑なく承認。</p>
委員長	<p>報第16号について説明を求める。</p>
社会体育 スタッフ長	<p>報第16号 第17回静岡県市町対抗駅伝競走大会について この大会は、東海道400年祭を契機とし、県内各市町の活性化及び市町相互のさらなる</p>

交流の促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を図ると同時に、本県スポーツ選手の発掘・育成・強化、さらに県民の体力向上等を目的として、静岡陸上競技協会、静岡新聞社・静岡放送の主催で実施されている。

実施時期は、12月3日（土）、スタート時間は午前10時、静岡県庁前をスタートし、県営草薙陸上競技場がゴールとなる。

今回の大会は、駿府城公園内で発掘調査が行われるため、第1区、2区、3区でコース変更が行われ、距離の変更も行われる。今までは、駿府城公園内を横切る形でタスキの受け渡しが行われたが、二之丸橋付近でのタスキの受け渡しとなり、コース及び距離が変更された。

この大会は、市町駅伝の大会要綱・申し合わせ事項、及び2016年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、同連盟駅伝競走規準に準拠して実施。

競技者登録については、10月17日（月）まで。12月2日（金）には、監督会議が静岡新聞放送会館で行われる。開会式については、7時45分から県営草薙体育館「このはなアリーナ」で行われる。併催事業として、今年も小学生補欠選手を対象に1,500mレースが行われ、完走者全員に記念メダルが授与される。

森町実行委員会要綱の第10条、任期については、昨年まで「委員の任期は、実行委員会立ち上げ日から市町対抗駅伝競走大会当日までとする。」となっていたが、ここに2項として「前項の規定に関わらず、任期満了後も第4条に定める事項を継続する場合は、年度を越えない範囲内において、その事業が完了するまで任期を延長することができるものとする。」を追加した。これは、任期満了後も、来年度に向けた選手候補者強化など、各部が事業を継続できるように改めたもので、施行日は平成28年4月1日とさせていただいた。

監督については、昨年に引き続き相羽さんをお願いし、今大会は山浦さんにトレーナーをお願いし、選手強化部委員に就任してもらった。なお、総務広報部委員中、体育協会常任理事、スポーツ少年団代表については、スポーツ少年団代表として、体育協会常任理事が未定のため、氏名を記載していない。

スケジュールは、5月27日（金）に駅伝森町実行委員会を立ち上げ、現在、強化選手候補者を募集中、7月から強化選手候補者との合同練習を開始する。7月23日にはスタート順等を決める抽選会が行われ、9月15日に強化選手選考会議を行い、森町の強化選手20名を決定のうえ、強化選手の合同練習を実施していく予定。

10月1日（土）に総務広報部コース見学会、10月29日（土）、11月26日（土）に選手強化部コース見学会を予定。11月20日（日）には、選手壮行会を産業祭りもりもり2万人祭会場で行い、終了後、強化選手最終打合会を開催し、正選手、補欠選手が決定する。

12月2日（金）には、正式オーダー票の提出及び監督会議が行われ、12月3日（土）に大会当日を迎える。

大会終了後、1月22日から2月5日まで森町文化会館展示ギャラリーにおいて駅伝写真展を予定。

委員長	以上について質疑を求める。
委員長	区間が新設されると聞いたが。
社会体育 スタッフ長	今回は発掘調査のための変更のみで、次回18回大会では、未定ではあるが区間の変更等が検討されている。
岡本委員	高林賞の申請についてはどうなるのか。
社会体育 スタッフ長	高林賞が18歳以下となっていて、40歳以上も含まれ難いところ。
社会教育課長	18歳以下の青少年が含まれている団体ということで、申請は可能。
岡本委員	大人と子供が入った団体からの申請については、子供だけが受賞するのか、扱いが複雑になると思われる。

委員 長	<p>教委顕彰式には、選手の皆さんが出席され、そのうち子供だけが受賞するのはアンバランスと思われる。</p>
社会教育課長	<p>区間賞を更新した選手には、体協総会でも表彰している。 高林賞は始まったばかりであり、高林さんの意向もあるかと思われるため、この意見を伝える。 大人が含まれていても、対象にさせていただくようお願いして了承を得ている。</p>
委員 長	<p>慎重に検討いただきたい。</p>
委員 全員	<p>他に質疑なく承認。</p>
委員 長	<p>報第17号について説明を求める。</p>
学校教育課長	<p>報第17号 森町議会 6月定例会報告について 6月10日に招集され、24日までの15日間で行われる。 10日本会議初日には、5人から一般質問が提出され、明日答弁となる。うち3人が社会教育課に関する質問。 小沢一男議員から図書館関係の質問、岡野豊議員からスポーツ大会の計画について、伊藤和子議員から子供の情操教育の推進について質問があるので、後ほど、社会教育課長から答弁の内容について説明する。 16日本会議2日目には、補正予算と一般議案。明日最終日に、会期中に緊急事案が発生し、追加議案で補正予算を2件提出する。 三倉小学校プールろ過ポンプ修理で864,000円と天方小学校屋内運動場耐震補強工事において22,140,000円、合わせて23,004,000円を計上。 三倉小のプールは先週学校からポンプが止まってしまったということで、早急な対応が必要なため、無指定の修繕費1,500,000円から歳出して修理した。今後の突発的な修繕に対応できなくなるため、同額を無指定分修繕費に補正計上する。 天方小学校屋内運動場耐震補強工事は、従来から東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により入札不調が全国でも発生しており、慎重に対応してきたが、加えて東日本大震災及び4月の熊本地震の影響により、ますます人手不足や資材の高騰が全国化している中、入札を行ったところ不調となった。資材の実勢単価や加工費について再度設計を見直したところ、22,140,000円の不足が生じたため補正を行うこととなった。</p>
社会教育課長	<p>小沢議員の質問で「大活字本」の町立図書館への所蔵状況については、現在148冊所蔵している。 岡野議員の質問については、2019年にラグビーワールドカップ、翌年の2020年にはオリンピック・パラリンピックの開催が予定されている。ラグビーはエコパが会場の一つとなっている。ラグビー人気の熱を2019年に継続するために、県では、開催推進委員会が設立された。森町としては、大会を盛り上げるために情報発信を検討すると答弁する。 オリンピックキャンプ地としては、競技規則の仕様に合わないため積極的な誘致は行わない。オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけでなく文化フォーラムを開催するようにオリンピック憲章で定められている。全国で文化プログラムが開かれるため、森町でも参加できるものを検討したい。町内で縁のある方については、紹介していきたい。 伊藤議員の質問について、世代間交流は豊かな人間性を育てる上で大切であり、森町としては、社会教育学級で取り組みの依頼をしており、地区の社会教育活動でも活動している地域もある。保健福祉課での地域福祉の活動でも活動している。また、放課後こども教室では、囲碁クラブの協力を得て、三倉小学校で囲碁の教室を開催し、天方小や児童クラブや保育園でも活動している。これらの活動の結果で世代間交流ができていけば良いと考える。保健福祉センターに「ふれあいの場」の常時開設については、保健福祉センターも文化会館も体育館も貸館事業を行っており、一つの団体に専用で使用させることは不可能である。貸館事業の範囲内で利用、地区の総合センターや公民館、空き家等を借りて活動していただく内容の答弁をする。</p>

委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	大活字本については、岩波文庫で発行しているが、あまり発行数が伸びていないのか。それとも広範囲で動きがあるのか。
社会教育課長	大活字本は、義足と同じように支給される日常生活用具支給事業に含まれる。大活字本は、字が大きくなるため、冊数も多くなる。利用者は、弱視や高齢者など目に障害がある方に限られる。1冊あたり安くても1,800円、高いものは4,000円程度で、人気のものの他、オーダーできるが高価となる。
委員 全員	他に質疑なく承認。

5 連絡事項

委員 長	連絡事項について、説明を求める。
庶務係長	次回の定例会開催日は、7月26日（火）とする

6 閉会

委員 長	以上で本日の日程を終了し、閉会とする。 14時36分閉会
------	---------------------------------

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 委 員 長

委 員

委 員

委 員

教 育 長

事 務 局
